



にこにこ



暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。子どもたちは真冬の冷たい風にも負けず、長久保公園や屋上園庭での遊びを毎日楽しんでいます。長久保公園ではかけっこや鉄棒、砂場ではおままごとなどで遊ぶ姿が見られます。屋上園庭では、歩行が上手になった子どもたちが、滑り台やボール遊びで全身運動を楽しんだり、各々が好みの遊びを展開しています。

今年度も残り2ヶ月となりました。冬の遊びや楽しみを見つけながら、一日一日を大切に、今月も思いっきり楽しんで過ごしたいと思います♪



保育園ではよく子どもたちにわらべうたを歌っています。「わらべうた」とは、子どもたちの日常生活や遊びのなかで継承されてきた歌のことです。

日本の四季や自然、伝統的な歌を歌ったものが多く、日本古来の価値観や季節感を知ることができます。



わらべうたを通して、手足を使ってジャンプしたりする動きは運動能力やリズム感覚の向上につながります。また、言葉遊びが多く、数を意識できる歌詞も多いため、言葉や数を学ぶよい機会になり、発語を促す効果も期待できます。抱っこしたり、くすぐったりする触れ合いを通して、触覚、運動感覚、平衡感覚など様々な感覚の成長を促します。

歌声に反応し、自発的に動こうとすることで、身体機能の発達に良い影響を与えることも考えられます。また、わらべ歌を歌いながら手足を使って遊ぶことでスキンシップがとれ、ママやパパとの絆を深めることができます。

わらべうたを通して、友だちと楽しく遊ぶことができるため、コミュニケーション能力を身につけたり、言葉や数を覚えることにつながります。そして、歌と一緒に体を動かすことで、運動能力やリズム感を養うことも。さらに、日常生活の中で使われる言葉や動きが出てくるので、遊びながら生活の基本を学ぶことも出来ます。

ご家庭でも、お子さんと向かい合い、目と目を合わせて歌うことで、安心感や親しみを持ち、信頼関係が生まれ、愛着も形成されます。特に乳児期においては、物音や機械の音よりも人間の声に快く反応し、気持ちも安定します。どんなわらべ歌を歌っているのかな?などご質問などありましたら、いつでもお声掛けください♪